

# 1型糖尿病を「治るよ」と言える社会に。

## 1型糖尿病患者と家族の想い



しおりちゃん 10歳

### 娘の笑顔を守ってくれるもの

娘は8歳で1型糖尿病と診断されました。その時一番辛かったのは、1型糖尿病は現在治る病気ではなく一生インスリン注射が必要ということでした。娘は1日約6回インスリン注射をするので、1年間に打つ注射の回数は2000回以上。“2000”という数字は途方もなく大きく、娘が立ち向かわなければならぬ現実の厳しさに目の前が真っ暗になりました。

「退院できるように注射がんばるよ!」と言われた時、どう伝えたら悲しまないか、頭の中で必死に言葉を探しましたが見つかりませんでした。

「注射は退院してからも必要かもね」苦しくてあまり覚えていないけれど、そんな風に答えました。娘は下を向いたあと顔を上げ「ママ、私は退院できるんだから。泣くのは今日までにしよう」そう言って、それから本当に泣かずに前を向いて笑顔で過ごしてきました。なんてカッコいいんだろう。娘のしなやかな強さを心から誇りに思います。

そして、前を向くとそこには希望がありました。

日本IDDMネットワークのサイトで1型糖尿病を治る病気にするための研究が進んでいることを知ったのです。

「いつか治る」その希望が娘の笑顔を守ってくれるもの。1型糖尿病が治って、インスリン注射をしなくても元気に生きられる日がくることを心待ちにしています。



## 日本IDDMネットワークとは

1型糖尿病をはじめとするインスリン補充が必要な患者・家族の支援団体です。1995年の阪神・淡路大震災が契機となり、全国の患者・家族の連携とこの疾患を取り巻く社会的課題の解決のために設立されました。

主な活動は、患者・家族への正しい情報提供（“希望のバッグ”の送付、セミナーの開催など）、患者・家族の療養環境や医療・福祉的な支援制度の改善のための政策要望、大規模災害時の患者・家族の支援、療養相談、社会啓発などに取り組んでいます。

そして最終ゴールとして1型糖尿病の根絶を目指し、その研究支援に取り組んでいます。

## 日本IDDMネットワークへのご寄付は税制優遇措置があります

※個人の場合は、所得控除又は税額控除のどちらか有利な方を選ぶことができます。

※法人の場合は、損金算入限度額の枠が拡大されます。

※寄付をした相続財産が非課税になります。

詳しくは税務署や税理士の方にお尋ねください。



認定特定非営利活動法人 日本IDDMネットワーク  
〒840-0854 佐賀県佐賀市八戸二丁目1番27-2号  
TEL: 0952-20-2062 FAX: 050-3385-8940  
info@japan-idm.net https://japan-idm.net/



idm 検索

# 不治の病“1型糖尿病”の根絶を目指して

「わたし治るの?」って聞かれたとき「治るよ」って言ってあげられなかった。



## Mission

インスリンの補充が欠かせない患者とその家族一人ひとりが希望を持って生きられる社会を実現することを目指します。

その当面のゴールは、1型糖尿病を「治らない」病気から「治る」病気にするのですが、究極の目標は“1型糖尿病の根絶(=治療+根治+予防)”です。

1型糖尿病根絶に向けた研究は、2型糖尿病にも応用できると言われています。

## 根絶



## 1型糖尿病について (IDDMについて)

1型糖尿病は、主に自己免疫によって、膵臓にある「インスリン」を産生する細胞が破壊される病気です。1型糖尿病を発症したら、膵臓又は膵島の移植手術を受けるか、生涯にわたって血糖測定をしながら毎日4~5回の注射又はポンプによるインスリン補充をし続けなくてはなりません。原因不明の不治の病であり、世界的には糖尿病全体の約5%が1型糖尿病と言われています。国内での年間発症率は10万人当たり1.5~2.5人です。

1型糖尿病は、かつてIDDM (インスリン依存型糖尿病) とも呼ばれていました。IDDMにはインスリン補充が必要な2型糖尿病患者や膵臓を摘出された二次性糖尿病の方も含まれます。

私たちは、1型糖尿病をはじめとするインスリン補充が必要な患者・家族を支援していきます。





# 日本IDDMネットワークの活動に“参加”してください。

## 個人の方々へ

### 個人会員になる



IDDMに関する様々な情報提供、イベントや教材の割引などの特典があります。

[年会費]  
 ■個人会員 (一口) 3,500円  
 ■個人賛助会員 (一口) 14,000円

### ふるさと納税



佐賀県庁への日本IDDMネットワーク指定のふるさと納税です。返礼品がお選びいただけます。活動全般への寄付となります。

ふるさとチョイス

### ふるさと納税GCF®



佐賀県庁への日本IDDMネットワーク指定のふるさと納税で特定の研究を支援できます。

ふるさとチョイスGCF®

### マンスリーサポーター



月々1,000円～1型糖尿病根絶に向けて様々な研究を継続して支えるサポーターです。

### 移植サポーター



月々1,000円～バイオ人工膵島移植の実現に向けて研究を継続して支えるサポーターです。

READYFOR

### ご寄付



クレジットカード、銀行振込、郵便振込用紙での研究支援、活動支援等様々なメニューの寄付をしております。用途の指定もできます。

## 法人・事業者の方々へ

### 賛助会員になる



患者・家族のための活動を充実・継続するためにご支援いただける方々を募集しております。会員特典もご用意しております。

[年会費]  
 ■法人・団体・事業者(一口)70,000円

### お買い物で支援



スイーツや糖尿病関連商品など様々な寄付付き商品があります。ご協力いただける事業者様を募集しております。その商品を購入することが支援につながります。

### チャリティー自販機の設置



売上の一部を研究支援のために寄付する自動販売機です。初期コスト0円で設置いただけます。ご協力いただける方々を募集しております。

### 募金箱の設置



お店や事業所、イベント等での設置にご協力ください。募金箱をお送りします。

### 希望のバッグ



患者・家族にとって必要な情報をバッグに詰めて届けるプロジェクトをご支援いただける方々を募集しております。患者・家族の絶望・不安を“希望”に変えるために。

### 調査事業など



患者へのアンケート調査、モニター紹介、WEBトップページやメールマガジンへの広告などを募集しております。

## 支援を行った研究者の方からの声



山中 伸弥さん  
 京都大学iPS細胞研究所  
 名誉所長/教授  
 公益財団法人京都大学iPS細胞  
 研究財団 理事長

日本IDDMネットワークが「1型糖尿病を治す」ための研究基金を設置し、長年にわたり研究者との交流活動を促進し、研究費を支援されていることは本当に大切に素晴らしいことだと思います。CiRA研究者も研究助成をいただいております。この場をお借りして心より感謝申し上げます。

私たち研究者の研究への大きなモチベーションは、研究の成果を待っている患者さんがすぐそばにいることを知って、何とか貢献したいという思いなのです。また、新しい治療の開発のために日夜がんばっている研究者がいるということ、患者さんや周りで支えておられる方々に知っていただくことで、希望をもっていただければと思います。



霜田 雅之さん  
 国立国際医療研究センター研究所  
 膵島移植企業連携プロジェクト  
 プロジェクト長

バイオ人工膵島の開発を行っています。日本IDDMネットワーク様にはこのバイオ人工膵島の研究に対し大きな研究助成をいただいております。感謝しております。また支援してくださった方々にこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。研究助成のおかげで、バイオ人工膵島を製造するために必要なクリーンルーム(細胞加工施設)を整備するなど、開発を大きく前進することができました。



バイオ人工膵島専用の細胞加工施設

これからはいよいよ実際に患者さんに移植する臨床研究を、他の大学や企業とともに行う計画です。

## 希望のバッグを受け取られた方々からの声

昨年1型糖尿病を発症してパニックになりましたが、偶然こちらのサイトを発見し『希望のバッグ』を取り寄せました。おかげで1型糖尿病について色々勉強し、自分の病気について友達などに説明することもできるようになりました。感謝しています。

希望のバッグの内容大変ありがたいです。自分たちの知らない知識や情報が沢山ありました。勿論バッグなどのグッズもありがたいです。1型糖尿病は一生ものなのでこれからの生活に生かしていきたいと思っております。



1型糖尿病患者向け“希望のバッグ”



2型糖尿病患者向け“希望のバッグ”